



## 安全データシート

Copyright, 2024, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	16-0852-0	版	1.02
発行日	2024/01/18	前発行日	2022/03/21

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

## 化学品及び会社情報

### 1.1. 化学品の名称

3M(TM) Scotch-Weld(TM) 二液混合型アクリル接着剤 DP810NS

### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

本製品は個々に包装された複数の構成成分からなるキット製品である。SDSには個々の構成成分のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。この製品を構成する製品のSDS番号は：

16-0795-1, 16-0802-5

## 輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。



## 安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	16-0802-5	版	2.00
発行日	2023/03/06	前発行日	2022/03/17

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M(TM) Scotch-Weld(TM) 二液混合型アクリル接着剤 DP810NS Part A

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

構造用接着剤

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分1

皮膚腐食性/刺激性： 区分2

皮膚感作性： 区分1

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分2

水生環境有害性 短期（急性）： 区分2

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分2

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

危険

##### シンボル

腐食性 感嘆符 健康有害性 環境

## ピクトグラム



## 危険有害性情報

H318	重篤な眼の損傷
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 神経系。 呼吸器
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

## 注意書き

## 安全対策

P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P280B	保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

## 応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P314	気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。
P391	漏出物を回収すること。

## 廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

## 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	20 - 30
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	10595-06-9	20 - 30

ヒドロキシプロピルメタクリレート	27813-02-1	10 - 20
ブタジエン・ブチルアクリレート・メチルメタクリレート共重合ポリスチレン	25101-28-4	10 - 20
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸 共重合物	9010-81-5	5 - 10
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	5 - 10
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	68611-44-9	3 - 5
2, 2' -メチレンビス [6-tert-ブチル-p-クレゾール]	119-47-1	0.1 - 0.9
クメン	98-82-8	0.50
クメンヒドロペルオキシド	80-15-9	2.0

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。眼への深刻な損傷（角膜の曇り、激しい痛み、裂傷、潰瘍、および視力の著しい障害または喪失）。長期あるいは反復ばく露による標的臓器影響（詳細については、項目11を参照）。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

#### 有害な分解物または副生成物

##### 物質

一酸化炭素  
二酸化炭素  
塩化水素  
窒素酸化物  
毒性蒸気、微粒子

##### 条件

燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中

#### 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

#### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

#### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

#### 取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。爆発の危険となる可能性がある水素の形成を避けるため、反応性の金属（例えば、アルミニウム、亜鉛等）から遠ざける。指定された個人保護具を使用する。

#### 保管

熱から離して保管する。アミンから離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

## 管理項目

### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
クメンヒドロペルオキシド	80-15-9	AIHA	TWA:6 mg/m <sup>3</sup> (1 ppm)	皮膚
クメン	98-82-8	ACGIH	TWA : 5ppm	A3: 動物発がん性物質
クメン	98-82-8	JSOH OELs	TWA (8時間) : 50mg/m <sup>3</sup> (10ppm)	2B: ヒトに対して発がん性の可能性がある。 (皮膚)

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m<sup>3</sup> : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

### ばく露防止策

#### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

#### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。

推奨される手袋の材質 : フルオロエラストマー

#### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する :

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	ペースト
色	白色
臭い	低臭。
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	適用しない
沸点, 初留点及び沸騰範囲	87 °C
引火点	102.2 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	<=13.3 Pa
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1.07 g/ml
比重	1.07 [参照基準: 水=1]
溶解度	微量 (<10%)
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	90,000 mPa-s
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	3.1 g/l [詳細: パートBと一緒に使用した際]
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	0.3 % [詳細: パートBと一緒に使用した際]
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	349 g/l [詳細: 支給されたままの状態]
モル重量	データはない。

## ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

## 10. 安定性及び反応性

## 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

## 化学的安定性

安定。

## 危険有害反応の可能性

危険な重合が起こることがある。

**避けるべき条件**

熱。  
 火花ないし炎  
 大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンが焦げて発煙を生じるので、50 g以上のレジンを一度に硬化させないこと。

**混触危険物質**

アミン類  
 還元剤  
 反応性金属

**危険有害な分解物**

**物質** **条件**  
 知見はない。

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

**11. 有害性情報**

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

**毒性学的影響に関する情報****ばく露による症状**

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

**吸入した場合**

吸入すると有害のおそれ 気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

**皮膚に付着した場合**

皮膚刺激： 発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。 皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応： 発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

**眼に入った場合**

化学物質による眼の薬傷（化学性腐蝕）： 角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

**飲み込んだ場合**

飲み込むと、健康障害を起こすことがある。 胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

**その他健康影響情報**



**長時間又は反復暴露した場合：**

神経への影響： 性格の変化、協調障害、感覚喪失、四肢の刺痛又はしびれ、虚弱、ふるえ、血圧変化及び心拍数変化などの症状。 吸入作用： 症状は咳、息切れ、胸部圧迫感、喘鳴。 頻脈、皮膚蒼白（チアノーゼ）、痰、肺機能検査の変化、呼吸不全。

**生殖毒性**

出生異常ないし他の生殖障害性のある化学物質を、単体または混合物として含有する。

**発がん性**

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

**毒性データ**

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

**急性毒性**

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	吸入－蒸気 (4時間)		データ無し：計算された急性毒性推定値 >20 - =50 mg/l
製品全体	経口摂取		データ無し：計算された急性毒性推定値 >2,000 - =5,000 mg/kg
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	皮膚		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 5,564 mg/kg
ブタジエン・ブチルアクリレート・メチルメタクリレート 共重合ポリスチレン	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ヒドロキシプロピルメタクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
ヒドロキシプロピルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 11,200 mg/kg
ブタジエン・ブチルアクリレート・メチルメタクリレート 共重合ポリスチレン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸 共重合 物	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸 共重合 物	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジ メタクリレート	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジ メタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	吸入－粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
クメンヒドロペルオキシド	皮膚	ラット	LD50 500 mg/kg
クメンヒドロペルオキシド	吸入－蒸気 (4時間)	ラット	LC50 1.4 mg/l
クメンヒドロペルオキシド	経口摂取	ラット	LD50 382 mg/kg
クメン	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,160 mg/kg
クメン	吸入－蒸気 (4時間)	ラット	LC50 39.4 mg/l
クメン	経口摂取	ラット	LD50 1,400 mg/kg
2, 2' -メチレンビス [6-t-ブチル-p-クレゾール]	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg

ル]			
2, 2' -メチレンビス [6-t-ブチル-p-クレゾール]	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

## 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	ウサギ	わずかな刺激
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	類似化合物	刺激物
ヒドロキシプロピルメタクリレート	ウサギ	わずかな刺激
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸 共重合物	専門家による判断	刺激性なし
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	In vitro data	刺激性なし
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	ウサギ	刺激性なし
クメンヒドロペルオキシド	ウサギ	腐食性
クメン	ウサギ	わずかな刺激

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	ウサギ	中程度の刺激
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	類似化合物	激しい刺激
ヒドロキシプロピルメタクリレート	ウサギ	中程度の刺激
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸 共重合物	専門家による判断	刺激性なし
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	In vitro data	刺激性なし
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	ウサギ	刺激性なし
クメンヒドロペルオキシド	ウサギ	腐食性
クメン	ウサギ	軽度の刺激

## 呼吸器感作性または皮膚感作性

## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	ヒト及び動物	感作性あり
ヒドロキシプロピルメタクリレート	ヒト及び動物	感作性あり
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	多種類の動物種	区分に該当しない。
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	ヒト及び動物	区分に該当しない。
クメン	モルモット	区分に該当しない。

## 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

## 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	In vivo	変異原性なし
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	In vitro	変異原性なし
ヒドロキシプロピルメタクリレート	In vivo	変異原性なし
ヒドロキシプロピルメタクリレート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	In vitro	変異原性なし
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	In vitro	変異原性なし
クメンヒドロペルオキシド	In vivo	変異原性なし
クメンヒドロペルオキシド	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
クメン	In vitro	変異原性なし
クメン	In vivo	変異原性なし

## 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
クメン	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性

## 生殖毒性

## 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	49 日
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
ヒドロキシプロピルメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
ヒドロキシプロピルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	49 日
ヒドロキシプロピルメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	妊娠期間中
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	授乳期早期交配
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	28 日
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	妊娠期間中
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
クメン	吸入した場合	発生毒性区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 11.3 mg/l	器官発生期
2, 2' -メチレンビス [6-tert-ブチル-p-クレゾール]	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 50 mg/kg/日	交配前および妊娠中。

2, 2' -メチレンビス [6-tert-ブチル-p-クレゾール]	経口摂取	雄性生殖機能に有毒	ラット	NOAEL 12.5 mg/kg/日	50 日
------------------------------------	------	-----------	-----	--------------------	------

## 標的臓器

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヒドロキシプロピルメタクリレート	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
クメンヒドロペルオキシド	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
クメンヒドロペルオキシド	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
クメンヒドロペルオキシド	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
クメン	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	非該当
クメン	吸入した場合	呼吸器への刺激	呼吸器への刺激のおそれ。	ヒト	LOAEL 0.2 mg/l	職業性被ばく
クメン	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	多種類の動物種	NOAEL 非該当	非該当

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヒドロキシプロピルメタクリレート	吸入した場合	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	21 日
ヒドロキシプロピルメタクリレート	経口摂取	造血系   心臓   内分泌系   肝臓   免疫システム   神経系   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	41 日
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	経口摂取	造血系   肝臓   免疫システム   腎臓および膀胱   内分泌系   眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	吸入した場合	呼吸器系   珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
クメンヒドロペルオキシド	吸入した場合	神経系   呼吸器系	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ラット	LOAEL 0.2 mg/l	7 日
クメンヒドロペルオキシド	吸入した場合	心臓   肝臓   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.03 mg/l	90 日
クメン	吸入した場合	聴覚系   内分泌系   造血系   肝臓   神経系   眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 59 mg/l	13 週
クメン	吸入した場合	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4.9 mg/l	13 週
クメン	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 59 mg/l	13 週
クメン	経口摂取	腎臓および膀胱   心臓   内分泌系   造血系   肝臓   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 769 mg/kg/day	6 月

## 誤えん有害性

名称	値又は判定結果
クメン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

## 生態毒性

## 水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

## 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	イシビラメ	類似コンパウンド	96 時間	LC50	833 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	227 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	710 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	380 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	160 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	24.1 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	該当なし	実験	16 時間	EC0	>3,000 mg/l
2-ヒドロキシ	868-77-9	該当なし	実験	18 時間	LD50	<98 mg/kg(体重)

エチルメタクリレート						
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	10595-06-9	液状化	類似コンパウンド	3 時間	EC50	177 mg/l
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	10595-06-9	ゴールドエンオルフェ (鯉)	類似コンパウンド	96 時間	LC50	10 mg/l
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	10595-06-9	緑藻類	類似コンパウンド	96 時間	ErC50	4.4 mg/l
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	10595-06-9	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	1.21 mg/l
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	10595-06-9	緑藻類	類似コンパウンド	96 時間	ErC10	0.74 mg/l
ヒドロキシプロピルメタクリレート	27813-02-1	バクテリア	実験	該当なし	EC10	1,140 mg/l
ヒドロキシプロピルメタクリレート	27813-02-1	ゴールドエンオルフェ (鯉)	実験	48 時間	EC50	493 mg/l
ヒドロキシプロピルメタクリレート	27813-02-1	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>97.2 mg/l
ヒドロキシプロピルメタクリレート	27813-02-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>143 mg/l
ヒドロキシプロピルメタクリレート	27813-02-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	97.2 mg/l
ヒドロキシプロピルメタクリレート	27813-02-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	45.2 mg/l
ブタジエン・ブチルアクリレート・メチルメタクリレート共重合ポリスチレン	25101-28-4	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メ	9010-81-5	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは	該当なし	該当なし	該当なし

タクリル酸 共重合物			不足してい る。			
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	液状化	類似コンパウンド	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	ニジマス	類似コンパウンド	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	水への溶解限界において毒性は見られない	>100 mg/l
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	68611-44-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
2, 2' -メチレンビス [6-t-ブチル-p-クレゾール]	119-47-1	緑藻類	エンドポイントに達しない。	72 時間	EC50	>100 mg/l
2, 2' -メチレンビス [6-t-ブチル-p-クレゾール]	119-47-1	ミジンコ	エンドポイントに達しない。	48 時間	EC50	>100 mg/l
2, 2' -メチレンビス [6-t-ブチル-p-クレゾール]	119-47-1	液状化	実験	3 時間	EC50	>10,000 mg/l
2, 2' -メチレンビス [6-t-ブチル-p-クレゾール]	119-47-1	メダカ	実験	96 時間	水への溶解限界において毒性は見られな	>100 mg/l

チルー p-ク レゾール]					い	
2, 2'-メ チレンビス [6-tert-ブ チルー p-ク レゾール]	119-47-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1.3 mg/l
クメン	98-82-8	液状化	実験	3 時間	EC10	>2,000 mg/l
クメン	98-82-8	緑藻類	実験	72 時間	EC50	2.6 mg/l
クメン	98-82-8	アミ	実験	96 時間	EC50	1.2 mg/l
クメン	98-82-8	ニジマス	実験	96 時間	LC50	2.7 mg/l
クメン	98-82-8	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	2.14 mg/l
クメン	98-82-8	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.22 mg/l
クメン	98-82-8	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.35 mg/l
クメンヒドロ ペルオキシド	80-15-9	バクテリア	実験	18 時間	EC10	0.103 mg/l
クメンヒドロ ペルオキシド	80-15-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	3.1 mg/l
クメンヒドロ ペルオキシド	80-15-9	ニジマス	実験	96 時間	LC50	3.9 mg/l
クメンヒドロ ペルオキシド	80-15-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	18.84 mg/l
クメンヒドロ ペルオキシド	80-15-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	1 mg/l

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
2-ヒドロキシ エチルメタク リレート	868-77-9	実験 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	84 %BOD/COD	OECD 301D - クロー ズドボトル法
2-ヒドロキシ エチルメタク リレート	868-77-9	実験 加水分 解		加水分解性半 減期 塩基性 pH	10.9 日 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた 加水分解
メタクリル酸 -2-フェノキ シエチルエス テル	10595-06-9	類似コンパウ ンド 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	22.3 %BOD/Th OD	OECD 301D - クロー ズドボトル法
メタクリル酸 -2-フェノキ シエチルエス テル	10595-06-9	実験 加水分 解		加水分解性半 減期 (pH7)	1 年 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた 加水分解
ヒドロキシプ ロピルメタク リレート	27813-02-1	実験 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	81 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
ブタジエン・ ブチルアクリ レート・メチ	25101-28-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし



ルメタクリレート共重合ポリスチレン						
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸共重合物	9010-81-5	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	24 %BOD/ThOD	OECD 301D - クローズドボトル法
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	68611-44-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2, 2' -メチレンビス [6-tert-ブチル-p-クレゾール]	119-47-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
クメン	98-82-8	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	33 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
クメン	98-82-8	実験 光分解		光分解半減期 (空气中)	4.5 日 (t 1/2)	
クメンヒドロペルオキシド	80-15-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.42	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	10595-06-9	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	5.8	Catalogic™
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	10595-06-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.137	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー
ヒドロキシプロピルメタクリレート	27813-02-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.97	EC A.8 Partition Coefficient
ブタジエン・ブチルアクリ	25101-28-4	分類にデータが利用でき	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

レート・メチルメタクリレート共重合ポリスチレン		ない、あるいは不足している。				
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸共重合物	9010-81-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	7	
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	≥4.66	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	68611-44-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
2, 2' -メチレンビス [6-tert-ブチル-p-クレゾール]	119-47-1	実験 BCF - 魚	60 日	生物濃縮係数	840	OECD305-生体濃縮度試験
クメン	98-82-8	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	140	Catalogic™
クメン	98-82-8	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	3.55	OECD107 log Kow フラスコ振騰法
クメンヒドロペルオキシド	80-15-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	1.82	

#### 土壌中の移動性

データはない。

#### オゾン層への有害性

データはない。

### 13. 廃棄上の注意

**廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

**14. 輸送上の注意**

国連番号及び品名： 3082 環境有害物質（液体）

輸送分類（IMO）：9 その他の有害性物質

輸送分類（IATA）：9 その他の有害性物質

容器等級：III

**国内規制がある場合の規制情報**

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

**15. 適用法令****国内法規制及び関連情報****日本国内法規制（主な適用法令）**

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法に基づく変異原性化学物質：労働省労働基準局長通達 基発第 312 号の 3 の別添 1 「変異原性が認められた化学物質による健康障害を防止するための指針」

労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達 基準第 182 号の 2

化管法：第 1 種指定化学物質

消防法：第四類第三石油類

船舶安全法、航空法：有害性物質

海洋汚染防止法：環境有害物質

**主な法規制物質**

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
クメン	クメン	該当	該当

**化管法**

成分	政令名称	管理番号	分類（2023年3月31日まで）	分類（2023年4月1日以降）
クメンヒドロペルオキシド	1-メチル-1-フェニルエチル=ヒドロペルオキシド	440	第1種指定化学物質	第2種指定化学物質

**16. その他の情報****改訂情報**

セクション1：製品用途 情報の追加。  
セクション2：注意書き - 安全対策 情報修正。  
セクション2：注意書き - 応急措置 情報修正。  
セクション3：成分表 情報修正。  
項目4：応急措置 - 症状及び影響 情報の追加。  
セクション8：mg/m3 記号 情報の追加。  
セクション8：保護具 - 眼 情報修正。  
セクション8：ppm 記号 情報の追加。  
セクション8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正。  
セクション8：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報修正。  
セクション9：融点/凝固点 情報修正。  
セクション9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正。  
セクション9：pH情報 情報修正。  
セクション10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加。  
セクション11：急性毒性の表 情報修正。  
セクション11：健康影響情報（飲み込んだ場合） 情報修正。  
セクション11：健康影響情報（吸入した場合） 情報修正。  
セクション11：生殖毒性の表 情報修正。  
セクション12：成分生態毒性情報 情報修正。  
セクション12：残留性および分解性の情報 情報修正。  
セクション12：生態濃縮性情報 情報修正。  
セクション15：労働安全衛生法の表 情報の追加。  
セクション15：法規名 - 表 情報の削除。  
セクション15：化管法の表 情報の追加。  
セクション15：適用法規のステートメント 情報修正。

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせでの使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

**3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。**



## 安全データシート

Copyright, 2022, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	16-0795-1	版	1.00
発行日	2022/03/17	前発行日	初版

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 化学品の名称

3M(TM) Scotch-Weld(TM) 二液混合型アクリル接着剤 DP810NS Part B

#### 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	テープ・接着剤製品技術部
電話番号	042-779-2188

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分1

皮膚腐食性/刺激性： 区分2

皮膚感作性： 区分1

水生環境有害性 短期（急性）： 区分2

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分2

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

危険

##### シンボル

腐食性 感嘆符 環境

##### ピクトグラム



## 危険有害性情報

H318	重篤な眼の損傷
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

## 注意書き

## 安全対策

P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280A	保護眼鏡／保護面を着用すること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

## 応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P310	直ちに医師に連絡すること。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P332 + P313	皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。
P391	漏出物を回収すること。

## 廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

## 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	20 - 30
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	10595-06-9	20 - 30
ヒドロキシプロピルメタクリレート	27813-02-1	10 - 20
ブタジエン・ブチルアクリレート・メチルメタクリレート共重合ポリスチレン	25101-28-4	10 - 20
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸 共重合物	9010-81-5	5 - 10
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	5 - 10

シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	68611-44-9	3 - 5
メタクリル酸2-ヒドロキシエチルホスフェート	52628-03-2	1 - 3
4-メトキシフェノール	150-76-5	0.1 - 0.9
フェノチアジン	92-84-2	0.1 - 0.9

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合：消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

火災の熱で密封された容器内の圧力が増し、爆発するおそれがある。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

一酸化炭素  
二酸化炭素  
塩化水素  
窒素酸化物  
毒性蒸気、微粒子

#### 条件

燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中  
燃焼中

### 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入すのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、パーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。密閉された換気不良の場所で使用しないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。汚染された作業衣は作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。爆発の危険となる可能性がある水素の形成を避けるため、反応性の金属（例えば、アルミニウム、亜鉛等）から遠ざける。

### 保管

熱から離して保管する。アミンから離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
4-メトキシフェノール	150-76-5	ACGIH	TWA : 5mg/m <sup>3</sup>	
フェノチアジン	92-84-2	ACGIH	TWA : 5mg/m <sup>3</sup>	皮膚吸収の危険性。

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準



JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

CEIL : 天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

## 保護具

### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨します。

全面マスク

間接式換気ゴーグル

### 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

### 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

有機ガス及び微粒子用半面形あるいは全面形防毒・防じんマスク。

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	ペースト
色	緑色
臭い	メタクリレート
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない。
融点・凝固点	適用しない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	87 °C
引火点	> 93.3 °C [試験方法: クローズドカップ法]
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない。
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。

蒸気圧	<=13.3 Pa
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1.07 g/ml
比重	1.07 [参照基準:水=1]
溶解度	微量 (<10%)
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	90,000 mPa-s
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	3.1 g/l [詳細:パートAと一緒に使用する際]
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	0.3 % [詳細:パートAと一緒に使用する際]
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	319 g/l [詳細:支給されたままの状態]
モル重量	データはない。

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

### 化学的安定性

安定。

### 危険有害反応の可能性

危険な重合が起こることがある。

### 避けるべき条件

熱。

火花ないし炎

大量のレジンを一度に硬化させると発熱によりレジンが焦げて発煙を生じるので、50 g以上のレジンを一度に硬化させないこと。

### 混触危険物質

アミン類

還元剤

反応性金属

### 危険有害な分解物

物質

条件

知見はない。

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

### 毒性学的影響に関する情報

#### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

#### 眼に入った場合

化学物質による眼の葉傷（化学性腐蝕）：角膜のかすみ、化学熱傷、痛み、催涙、潰瘍、視力障害又は視力損失などの症状。

#### 皮膚に付着した場合

皮膚刺激：発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。光感作：少しの日光照射で発現する水疱、発赤、腫脹、かゆみ等の日焼け様の反応などの症状。

#### 吸入した場合

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

#### 飲み込んだ場合

胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

#### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するのに十分なデータが無い場合になります。

#### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	皮膚		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	皮膚		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 5,564 mg/kg
ブタジエン・ブチルアクリレート・メチルメタクリレート共重合ポリスチレン	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ヒドロキシプロピルメタクリレート	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
ヒドロキシプロピルメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 11,200 mg/kg
ブタジエン・ブチルアクリレート・メチルメタクリレート共重合ポリスチレン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸 共重	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg

化合物			
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸 共重合物	経口摂取		LD50 推定値 2,000 - 5,000 mg/kg
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	吸入-粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
メタクリル酸2-ヒドロキシエチルホスフェート	経口摂取	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
4-メトキシフェノール	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
4-メトキシフェノール	経口摂取	ラット	LD50 1,630 mg/kg
フェノチアジン	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
フェノチアジン	経口摂取	ラット	LD50 1,370 mg/kg

ATE=推定急性毒性

### 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	ウサギ	わずかな刺激
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	類似化合物	刺激物
ヒドロキシプロピルメタクリレート	ウサギ	わずかな刺激
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸 共重合物	専門家による判断	刺激性なし
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	In vitro data	刺激性なし
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	ウサギ	刺激性なし
メタクリル酸2-ヒドロキシエチルホスフェート	ウサギ	腐食性
4-メトキシフェノール	ウサギ	軽度の刺激
フェノチアジン	ウサギ	刺激性なし

### 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	ウサギ	中程度の刺激
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	類似化合物	激しい刺激
ヒドロキシプロピルメタクリレート	ウサギ	中程度の刺激
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸 共重合物	専門家による判断	刺激性なし
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	In vitro data	刺激性なし
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	ウサギ	刺激性なし
メタクリル酸2-ヒドロキシエチルホスフェート	類似健康有害性	腐食性
4-メトキシフェノール	ウサギ	激しい刺激
フェノチアジン	ウサギ	軽度の刺激

### 呼吸器感作性または皮膚感作性

#### 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果

2-ヒドロキシエチルメタクリレート	ヒト及び動物	感作性あり
ヒドロキシプロピルメタクリレート	ヒト及び動物	感作性あり
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	多種類の動物種	区分に該当しない。
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	ヒト及び動物	区分に該当しない。
メタクリル酸2-ヒドロキシエチルホスフェート	マウス	感作性あり
4-メトキシフェノール	モルモット	感作性あり
フェノチアジン	モルモット	感作性あり

### 光感作性

名称	生物種	値又は判定結果
フェノチアジン	ヒト	感作性あり

### 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

### 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	In vivo	変異原性なし
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	In vitro	変異原性なし
ヒドロキシプロピルメタクリレート	In vivo	変異原性なし
ヒドロキシプロピルメタクリレート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	In vitro	変異原性なし
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	In vitro	変異原性なし
メタクリル酸2-ヒドロキシエチルホスフェート	In vitro	変異原性なし
4-メトキシフェノール	In vivo	変異原性なし
4-メトキシフェノール	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
フェノチアジン	In vitro	変異原性なし
フェノチアジン	In vivo	変異原性なし

### 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
4-メトキシフェノール	皮膚	多種類の動物種	発がん性なし
4-メトキシフェノール	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。

### 生殖毒性

### 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
----	----	---------	-----	------	-------

2-ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	49 日
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	交配前および妊娠中。
ヒドロキシプロピルメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	授乳期早期交配
ヒドロキシプロピルメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	49 日
ヒドロキシプロピルメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	妊娠期間中
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	授乳期早期交配
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	28 日
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	妊娠期間中
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/day	1 世代
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/day	1 世代
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/day	器官発生期
メタクリル酸 2-ヒドロキシエチルホスフェート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	妊娠期間中
4-メトキシフェノール	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	授乳期早期交配
4-メトキシフェノール	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	28 日
4-メトキシフェノール	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 200 mg/kg/day	妊娠期間中
フェノチアジン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/day	器官発生期

## 標的臓器

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヒドロキシプロピルメタクリレート	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
メタクリル酸 2-ヒドロキシエチルホスフェート	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	
4-メトキシフェノール	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 非該当	

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ヒドロキシプロピルメタクリレート	吸入した場合	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.5 mg/l	21 日
ヒドロキシプロピルメタクリレート	経口摂取	造血器系   心臓   内分泌系   肝臓   免疫システム   神経系   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	41 日

ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	経口摂取	造血器系   肝臓   免疫システム   腎臓および膀胱   内分泌系   眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	13 週
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	吸入した場合	呼吸器系   珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
メタクリル酸2-ヒドロキシエチルホスフェート	経口摂取	造血器系   腎臓および膀胱   心臓   肝臓   免疫システム   眼	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	90 日
4-メトキシフェノール	経口摂取	消化管	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 300 mg/kg/day	28 日
4-メトキシフェノール	経口摂取	肝臓   免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	28 日
4-メトキシフェノール	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 300 mg/kg/day	28 日
4-メトキシフェノール	経口摂取	心臓   内分泌系   造血器系   神経系   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 300 mg/kg/day	28 日
フェノチアジン	経口摂取	造血器系	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ	イヌ	NOAEL 18 mg/kg/day	13 週
フェノチアジン	経口摂取	心臓   内分泌系   肝臓   腎臓および膀胱   呼吸器系	区分に該当しない。	イヌ	NOAEL 67 mg/kg/day	13 週

### 誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分2：水生生物に毒性。

#### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分2：長期継続的影響によって水生生物に毒性。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
2-ヒドロキシエチルメタク	868-77-9	イシビラメ	類似コンパウンド	96 時間	LC50	833 mg/l

3M(TM) Scotch-Weld(TM) 二液混合型アクリル接着剤 DP810NS Part B

リレート						
2-ヒドロキシエチルメタク リレート	868-77-9	ファットヘッド ミノウ (魚)	実験	96 時間	LC50	227 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタク リレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	EC50	710 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタク リレート	868-77-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	380 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタク リレート	868-77-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	160 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタク リレート	868-77-9	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	24.1 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタク リレート	868-77-9		実験	16 時間	EC0	>3,000 mg/l
2-ヒドロキシエチルメタク リレート	868-77-9		実験	18 時間	LD50	<98 mg/kg(体重)
メタクリル酸-2-フェノキシ エチルエステル	10595-06-9	液状化	実験	3 時間	EC50	177 mg/l
メタクリル酸-2-フェノキシ エチルエステル	10595-06-9	ゴールデンオル フェ (鯉)	実験	96 時間	LC50	10 mg/l
メタクリル酸-2-フェノキシ エチルエステル	10595-06-9	緑藻類	実験	96 時間	EC50	4.1 mg/l
メタクリル酸-2-フェノキシ エチルエステル	10595-06-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	1.21 mg/l
メタクリル酸-2-フェノキシ エチルエステル	10595-06-9	緑藻類	実験	96 時間	EC10	0.42 mg/l
ヒドロキシプロピルメタク リレート	27813-02-1	バクテリア	実験		EC10	1,140 mg/l
ヒドロキシプロピルメタク リレート	27813-02-1	ゴールデンオル フェ (鯉)	実験	48 時間	EC50	493 mg/l
ヒドロキシプロピルメタク リレート	27813-02-1	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>97.2 mg/l
ヒドロキシプロピルメタク リレート	27813-02-1	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	>143 mg/l
ヒドロキシプロピルメタク リレート	27813-02-1	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	97.2 mg/l
ヒドロキシプロピルメタク リレート	27813-02-1	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	45.2 mg/l
ブタジエン・ブチルアクリ レート・メチルメタクリ レート共重合ポリスチレン	25101-28-4		分類にデータが利 用できない、ある いは不足してい る。			該当なし
アクリロニトリル-1,3-ブタ ジエン-メタクリル酸 共重 合物	9010-81-5		分類にデータが利 用できない、ある いは不足してい る。			該当なし
ビスフェノールA ポリエチ レングリコール ジエーテル ジメタクリレート	41637-38-1	液状化	推定値	3 時間	EC50	>1,000 mg/l
ビスフェノールA ポリエチ レングリコール ジエーテル ジメタクリレート	41637-38-1	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限界に おいて毒性は見ら れない	>100 mg/l
ビスフェノールA ポリエチ レングリコール ジエーテル ジメタクリレート	41637-38-1	ニジマス	推定値	96 時間	水への溶解限界に おいて毒性は見ら れない	>100 mg/l
ビスフェノールA ポリエチ レングリコール ジエーテル ジメタクリレート	41637-38-1	緑藻類	推定値	72 時間	水への溶解限界に おいて毒性は見ら れない	>100 mg/l
シラン、ジクロロジメチル 及びシリカの反応生成物	68611-44-9		分類にデータが利 用できない、ある いは不足してい			該当なし



			る。			
メタクリル酸2-ヒドロキシエチルホスフェート	52628-03-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>120 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシエチルホスフェート	52628-03-2	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>112 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシエチルホスフェート	52628-03-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	68 mg/l
メタクリル酸2-ヒドロキシエチルホスフェート	52628-03-2	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	30 mg/l
4-メトキシフェノール	150-76-5	繊毛原生動物	実験	40 時間	IC50	171.4 mg/l
4-メトキシフェノール	150-76-5	緑藻類	実験	72 時間	EC50	54.7 mg/l
4-メトキシフェノール	150-76-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	28.5 mg/l
4-メトキシフェノール	150-76-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	2.2 mg/l
4-メトキシフェノール	150-76-5	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	2.96 mg/l
4-メトキシフェノール	150-76-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.68 mg/l
フェノチアジン	92-84-2	液状化	実験	3 時間	IC10	72 mg/l
フェノチアジン	92-84-2	嫌気性汚泥	実験	24 時間	EC50	>=10 mg/l
フェノチアジン	92-84-2	繊毛原生動物	実験	48 時間	IC50	8 mg/l
フェノチアジン	92-84-2	緑藻類	実験	72 時間	EC50	>100 mg/l
フェノチアジン	92-84-2	ニジマス	実験	96 時間	LC50	0.597 mg/l
フェノチアジン	92-84-2	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.154 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	実験 加水分解		加水分解半減期 塩基性pH	10.9 日 (t 1/2)	OECD 111 pHに応じた加水分解
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	84 %BOD/COD	OECD 301D - クローズドボトル法
メタクリル酸-2-フェノキシエチルエステル	10595-06-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	22.3 % BOD/ThBOD	OECD 301D - クローズドボトル法
ヒドロキシプロピルメタクリレート	27813-02-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	81 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
ブタジエン・ブチルアクリレート・メチルメタクリレート共重合ポリスチレン	25101-28-4	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸 共重合物	9010-81-5	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	24 % BOD/ThBOD	OECD 301D - クローズドボトル法
シラン、ジクロロジメチル及びシリカの反応生成物	68611-44-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
メタクリル酸2-ヒドロキシエチルホスフェート	52628-03-2	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	93.1 % BOD/ThBOD	OECD 301F
4-メトキシフェノール	150-76-5	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	86 % BOD/ThBOD	OECD 301C-MITI (1)
フェノチアジン	92-84-2	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	0 % BOD/ThBOD	OECD 301D - クローズドボトル法

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
2-ヒドロキシエチルメタクリレート	868-77-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	0.42	OECD107 log Kow フラスコ振盪法
メタクリル酸-2-フェノキ	10595-06-9	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	5.8	推定値：生態濃縮係数

シエチルエステル						
ヒドロキシプロピルメタクリレート	27813-02-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	0.97	非標準的な手法
ブタジエン・ブチルアクリレート・メチルメタクリレート共重合ポリスチレン	25101-28-4	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
アクリロニトリル-1,3-ブタジエン-メタクリル酸共重合物	9010-81-5	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	推定値 生態濃縮		生物濃縮係数	6.6	推定値：生態濃縮係数
ビスフェノールA ポリエチレングリコール ジエーテルジメタクリレート	41637-38-1	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	≥4.66	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー
シラン、ジクロロジメチル-及びシリカの反応生成物	68611-44-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
メタクリル酸2-ヒドロキシシエチルホスフェート	52628-03-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	1 - 2.72	OECD 117、log Kow (オクタノール/水分配係数)、高速液体クロマトグラフィー
4-メトキシフェノール	150-76-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水分配係数	1.58	非標準的な手法
フェノチアジン	92-84-2	実験 BCF-鯉	56 日	生物濃縮係数	660	

#### 土壌中の移動性

データはない。

#### オゾン層への有害性

データはない。

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

### 14. 輸送上の注意

国連番号及び品名： 3082 環境有害物質（液体）

輸送分類（IMO）：9 その他の有害性物質

輸送分類（IATA）：9 その他の有害性物質

容器等級：III

#### 国内規制がある場合の規制情報

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

## 15. 適用法令

### 国内法規制及び関連情報

#### 日本国内法規制（主な適用法令）

労働基準法に基づく「感作性」化学物質：労働省労働基準局通達 基準第182号の2

消防法：第四類第三石油類

船舶安全法、航空法：有害性物質

海洋汚染防止法：環境有害物質

#### 主な法規制物質

成分	法規名		
	安衛法（表示・通知）	化管法	毒劇法
該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

## 16. その他の情報

### 改訂情報

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時において正確であると信じられるものです。当社は、法的な要求事項を除き、安全データシートに記載事項について、製品の使用に伴う損失や災害等を補償するものではありません。本安全データシートに記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。したがって、製品が使用目的に合致しているかについては、お客様ご自身でご確認ください。

3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。